

## 特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第15期2月度理事会議事録

- I. 日 時：平成30年2月12日（月）13:15～16:45
- II. 場 所：東京都港区 建築会館301会議室
- III. 出席者数：理事総数19名 出席理事数19名
- IV. 出席理事氏名：武見ゆかり（理事長・議長）、南久則（副理事長）、上西一弘、川久保清、川島由起子、木村典代、小切間美保、酒井徹（第64回学術総会会長）、佐藤伸、下浦佳之、鈴木公、瀧本秀美、塚原丘美、名和田清子、山本浩範、由田克士、赤松利恵（委任出席）、菊地和美（委任出席）、村山伸子（第65回学術総会会長 委任出席）
- 出席監事氏名：富田教代
- その他の出席者：竹内弘幸（第66回学術総会会長）
- V. 議事録署名人の選任に関する事項
- 議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、川島由起子理事及び木村典代理事を選任することを全員異議なく承認した。
- VI. 審議事項 ※（ ）は提案説明者
- 【I. 庶務関連事項】
1. 会員の動向（上西庶務担当理事）
  2. 次期評議員候補者の推薦（上西庶務担当理事）
  3. 学生会員の権限の見直し（上西庶務担当理事）
  4. 認定NPO法人の検討（上西庶務担当理事）
  5. 今後の会議・活動予定（上西庶務担当理事）
- 【II. 財務関連事項】
1. NPO第15期経費執行状況（塚原財務担当理事）
- 【III. 編集関連事項】
1. 栄養学雑誌編集委員会報告（由田編集担当理事）
- 【IV. 学術関連事項】
1. NPO第15期事業執行状況（事務局）
  2. 第64回学術総会開催報告（酒井第64回学術総会会長）
  3. 第65回学術総会準備状況（上西理事・第65回学術総会学術委員長）
  4. 第66回学術総会準備状況（竹内第66回学術総会会長）
  5. 2021年（第68回）学術総会の持ち方（武見理事長）
  6. 30年度学会賞・奨励賞の選考（武見理事長）
  7. 研究倫理に関する教育支援活動（武見理事長）
  8. 利益相反マネジメント（武見理事長）
  9. 「健康な食事・食環境」推進事業（武見理事長）
  10. 関連学協会等との連携（回覧資料）
    - （1）農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課「食育活動全国展開委託事業」への協力
    - （2）日本学術会議提言「生きる力の更なる充実を目指した家庭科教育への提案－教員養成の立場から－」表出

- (3) 第23回生活科学系コンソーシアム会議への出席
- (4) 遠山椿吉記念第5回健康予防医療賞授賞式への出席
- (5) 日本小児医療保健協議会栄養委員会「第12回子どもの食育を考えるフォーラム」後援・開催報告
- (6) 公益社団法人日本栄養・食糧学会関東支部「第100回記念シンポジウム」後援
- (7) 公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「平成29年度食育健康サミット」後援
- (8) 一般社団法人臨床栄養実践協会「第5回記念セミナー」後援
- (9) 公益社団法人日本栄養・食糧学会関東支部「第20回脂質栄養シンポジウム」後援
- (10) 第三回国際シンポジウム「コメとグローバルヘルス～コメとコメ糠の科学」後援
- (11) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所「第8回アジア栄養ネットワークシンポジウム」後援
- (12) 一般社団法人日本動脈硬化学会「栄養成分表示に関する要望書」賛同御礼
- (13) 乳の学術連合「平成30年度乳の学術連合学術研究公募」周知協力
- (14) 公益財団法人日本食品化学研究振興財団「平成30年度研究等助成対象者募集」周知協力

**【V. 広報関連事項】**

- 1. ホームページ事業（酒井広報担当理事）
- 2. JSNDメールニュース事業（酒井広報担当理事）

**【VI. 国際関連事項】**

- 1. 栄養改善事業の国際展開プラットフォーム（NJPPP）事業（武見理事長）
- 2. 栄養学雑誌サプリメント「日本と海外の学校給食」（武見理事長）
- 3. IUNS-ICN2021（武見理事長）

**【VII. 厚生労働委託事業】**

- 1. 管理栄養士専門分野別人材育成事業\_教育養成領域での人材育成（武見理事長）

**【VIII. 支部会報告】**

- 1. 支部会活動報告
  - (1) 北海道支部会（書面報告）
  - (2) 東北支部会（佐藤理事）
  - (3) 関東・甲信越支部会（木村理事）
  - (4) 北陸支部会（山本理事）
  - (5) 東海支部会（塚原理事・東海支部長）
  - (6) 近畿支部会（由田理事・近畿支部長）
  - (7) 中国支部会（名和田理事）
  - (8) 四国支部会（酒井理事・四国支部長）
  - (9) 九州・沖縄支部会（南副理事長・九州・沖縄支部長）

**【IX. 回覧資料による各種報告】**

- 1. 複写に係る著作権使用料の分配報告（回覧資料）
  - (1) 一般社団法人出版社著作権管理機構（2016年度分）
  - (2) 特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会（2017年分）
- 2. 学会誌（学術総会講演要旨集）転載許諾
  - (1) 株式会社オルタスジャパン

- (2) 株式会社メディカルレビュー
- (3) 日本業務食品株式会社
- (4) 相模原市教育委員会

【X. その他】

- 1. NPO第15期・第16期の理事の所掌について（武見理事長）

**VII. 議事の経過の概要及び議決の結果**

【I. 庶務関連事項】

- 1. 会員の動向・・・①今期の支部会別会員数（都道府県別付き）、②NPO第2期（平成16年度）から今期までの新規・継続別正会員数（全国、支部会別）、③NPO第11期（平成25年度）から今期までの支部会別正会員数（継続率付き）、④過去3年間の退会者の属性（年齢、会員歴）、が配付され、会員の減少傾向が続いていることが報告された。

平成30年度の会費の改定を機に、①ある程度の会員減が想定されること、②学会の基盤となる会員の確保が課題であること、を確認した。これを受けて、学術総会の演題登録資格（発表者・連名者全員が当該年度の会費既納者であること）について、「一時的」な入会のきっかけにはなるが、過去3年間の退会者の属性から、必ずしも会員として定着している状況ではないことが指摘され、審議の結果、NPO第17期（2019年度）に開催する第66回学術総会から、連名者の会員資格は問わないことを承認した。これに伴う細則等の整備を4月度役付理事打合会で議論し、5月度理事会に提案することを了承した。

- 2. 次期評議員候補者の推薦・・・前回の推薦受付期間は3月を跨いで実施したため、候補者の所属の異動等により、推薦書類の確認作業が煩雑になったことが説明され、前回よりも1ヶ月程度遅い4月から、推薦受付を開始するスケジュールが提案され、これを承認した。

正会員数を基準に算出した支部会別評議員数が配付され、次期評議員候補者選出にあたり、この評議員数を目標とすることを確認した。

評議員候補者の条件（会員歴、推薦人の数）の見直しについて発言があり、審議の結果、今回は、現細則に基づく選出を行うこととし、今後の課題として検討することを了承した。

実践活動者の評議員の増員について、日本栄養士会長推薦に期待する旨、発言があり、日本栄養士会長推薦の下浦理事に対応を依頼した。

- 3. 学生会員の権限の見直し・・・今般の会費の改定の検討経過の中で、学生会員については会費を据え置くこととし、雑誌の発送を見直すことをNPO第15期8月度理事会で合意した。本件について、あらためて、審議を行い、採決の結果、配布を継続することを承認した。

- 4. 認定NPO法人の検討・・・認定NPO法人（NPO法人のうち、その組織運営および事業活動が適正であり、一定の基準に適合したものとして所轄庁の認定を受けたNPO法人）制度が紹介された。今般の会費の改定に伴い、基準の一つであるパブリック・サポート・テスト基準に適合することになったことを機に、この法人を目指したいことが提案され、庶務と財務を担当する理事でWGを組織し、検討することを承認した。認定NPO法人の認定基準、受けられる税制上の措置、報告義務等について資料が配付された。

- 5. 今後の会議・活動予定・・・会議・活動予定が配布され、未定だった次回の理事会を決定した。主な予定は次のとおりである。

〔総会・評議員会〕9月3日

〔理事会〕5月27日、8月18日

〔監事会〕 8月18日

〔役付理事打合せ〕 4月21日、7月21日または29日

## 【Ⅱ．財務関連事項】

1. NP0第15期経費執行状況・・・1月31日現在の経費執行状況（活動計算書、貸借対照表、事業別損益計算書、収支計算内訳書）が配付資料により報告された。第64回学術総会の収支は収入超過で終了したため、予算の当期収支差額の支出超過を減少できる見込であることが報告され、これを了承した。

## 【Ⅲ．編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告・・・1月31日現在の論文受付、審査、掲載の状況が配布され、①栄養学雑誌第76巻第1号に、理事長の巻頭言に続いて編集委員長のメッセージを掲載し、論文投稿の呼びかけを行う、②リニューアルした「実践活動報告」の投稿を受け付けた、③栄養学雑誌のブラッシュアップも期待し、PubMedへの掲載に向けて情報収集を行っている、ことが報告され、これを了承した。

また、関連学協会等からの栄養学雑誌への記事の掲載依頼の対応について、次の提案があり、これを承認した。ホームページへの掲載の可否は、広報担当理事の所掌とすることを確認した。

〔関連学協会等の記事の掲載依頼の対応〕

- 1) 大会・セミナー・シンポジウム等：ホームページで対応する。
- 2) 研究助成：ホームページで対応する。
- 3) 教員公募：ホームページで対応する。
- 4) 書評（新刊紹介）：編集委員会で対応する。

## 【Ⅳ．学術関連事項】

1. NP0第15期事業執行状況・・・1月31日現在の事業執行状況が配付資料により報告された。
2. 第64回学術総会開催報告・・・実施概要と会計報告が配付資料により報告があり、これを承認した。購入した消耗品の一部を、学術総会事務局を設置していた徳島大学に寄贈したい旨、申請があり、これを承認した。「学術総会の運営に関する申し合わせ」に定める剰余金について、本理事会の広報関連事項で提案したい旨、発言があり、これを了承した。

参考資料として過去5年間の学術総会の会計資料と、第64回学術総会のアンケート結果の一部（来年度の学術総会に向けての意見）が配付された。アンケート結果の公表は広報担当理事に一任することを了承した。

3. 第65回学術総会準備状況・・・栄養学雑誌第76巻第1号に掲載する開催案内が配布され、準備状況が報告された。65回学術総会における他学会との共催シンポジウムの実施にかかる方針が配布された。近年、関連学協会との共催企画が増えていることから、本件について審議を行い、現時点では、①当該学術総会会長に一任すること、②他学会との共催プログラムを設けた場合は、遅滞なく理事会に報告すること、を合意した。
4. 第66回学術総会準備状況・・・実行委員の選定、名誉会員・名誉顧問・副会長候補者の選出、運営事務局の選定を行っている状況が報告され、これを了承した。
5. 2021年（第68回）学術総会の持ち方・・・前回の理事会で、第22回IUNS-ICNとの同時開催に向けた検討を行うことが承認されたことに伴い、学術総会時における本学会の独自事業について

て審議した。審議の結果、①通常総会・学会賞等表彰式、②評議員会、③学会賞等受賞講演は、別会場で開催すること（開催候補日・会場：9月14日・有楽町よみうりホールなど）、④支部長会議は同年8月の理事会に併催すること、⑤栄養相談コーナーは第22回IUNS-ICNの市民公開講座のプログラムの一つに組み込むことを第22回IUNS-ICN組織委員会に提案すること、を承認した。また、2021年の学術総会は例外的な運営となることから、理事長より、直後の学術総会を担当する支部会は、早めの準備をお願いする旨、発言があった。

6. 30年度学会賞・奨励賞の選考・・・次の選考日程を承認した。過去5年間の選考状況が配布され、推薦件数が極めて少ない実態を確認した。実践活動の候補者の推薦条件について、発言があり、今後の課題として検討することを了承した。理事長から、積極的な候補者の推薦を期待する旨、発言があった。

[選考日程]

- 2月20日 候補者推薦依頼文書送付（全評議員）
- 2月下旬 栄養学雑誌第76巻第1号発送（学会賞・奨励賞候補者推薦依頼）
- 3月23日 推薦締切
- 4～5月 学会賞等選考委員会
- 5月27日 理事会（受賞者決定）

7. 研究倫理に関する教育支援活動・・・「研究倫理に関する教育・支援担当」（相談窓口）の事業について、配付資料により説明があり、本件は学術理事が担当することを確認した。ホームページの掲載内容について、一部修正を行うことを合意した。

8. 利益相反マネジメント・・・栄養学研究の利益相反（COI）に関する指針並びに細則に定める、COI申告の具体的な手続き（流れ）について配付資料により説明があり、これを確認した。

本理事会に先立ち、昨年11月1日に就任した役員等のうち、定款第3章に定める役員以外の役員等のCOI自己申告書について、監事による検証を行った結果、全員、適正の旨、富田監事より報告があった。

9. 「健康な食事・食環境」推進事業・・・本事業の予算、「健康な食事・食環境」コンソーシアム規約、スマートミール販売先行実施の事業所・店舗、本事業の広報活動、が配布資料により説明があり、これを承認した。

10. 関連学協会等との連携・・・次の事業について対応したことが回覧資料により報告され、これを了承した。

- (1) 農林水産省消費・安全局消費者行政・食育課「食育活動全国展開委託事業」への協力・・・本件は、事業報告に掲載することを確認した。
- (2) 日本学術会議提言「生きる力の更なる充実を目指した家庭科教育への提案－教員養成の立場から－」表出
- (3) 第23回生活科学系コンソーシアム会議への出席
- (4) 遠山椿吉記念第5回健康予防医療賞授賞式への出席
- (5) 日本小児医療保健協議会栄養委員会「第12回子どもの食育を考えるフォーラム」後援・開催報告
- (6) 公益社団法人日本栄養・食糧学会関東支部「第100回記念シンポジウム」後援
- (7) 公益社団法人米穀安定供給確保支援機構「平成29年度食育健康サミット」後援
- (8) 一般社団法人臨床栄養実践協会「第5回記念セミナー」後援

- (9) 公益社団法人日本栄養・食糧学会関東支部「第20回脂質栄養シンポジウム」後援
- (10) 第三回国際シンポジウム「コメとグローバルヘルス～コメとコメ糠の科学」後援
- (11) 国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所「第8回アジア栄養ネットワークシンポジウム」後援
- (12) 一般社団法人日本動脈硬化学会「栄養成分表示に関する要望書」賛同御礼
- (13) 乳の学術連合「平成30年度乳の学術連合学術研究公募」周知協力
- (14) 公益財団法人日本食品化学研究振興財団「平成30年度研究等助成対象者募集」周知協力

#### 【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業・・・10月27日から2月7日までの更新情報が配付資料により報告された。また、第64回学術総会の剰余金の使途として、会員のページの充実と支部会活動の活性を目途に、支部会学術総会などの講演を会員のページに掲載するための費用に充当したい旨、提案があった。審議の結果、次のとおり承認した。

[支部会事業の講演等の会員のページの掲載]

- 1) 講演等の録画は当該支部会が行う。内容は当該支部長に一任する。
  - 2) 録画データを会員のページに掲載するための費用は、第64回学術総会の剰余金で賄う。
  - 3) 演者への依頼文書(雛形)は学会が準備する。発信者は理事長と当該支部長の連名とし、文書の発送は当該支部会が行う。
2. JSNDメールニュース事業・・・事業の概要と実施状況が、配付資料により報告された。定期配信には毎号「役員からの一言」を掲載することとし、各号の担当を確認した。

#### 【VI. 国際関連事項】

1. 栄養改善事業の国際展開プラットフォーム(NJPPP)事業・・・運営委員会への参画、インドネシア寄宿舎の栄養改善モデル事業の受託について、配布資料により報告された。
2. 栄養学雑誌サプリメント「日本と海外の学校給食」・・・進捗状況が配布資料により報告された。本サプリメントは、①正会員と関連機関・団体等に配布すること、②当初検討していた広告協賛の募集は行わないこと、を了承した。
3. IUNS-ICN2021・・・3月末を目途にPCOの選定を行うなど、組織委員会の状況が、配付資料により報告された。

#### 【VII. 厚生労働委託事業】

1. 管理栄養士専門分野別人材育成事業\_教育養成領域での人材育成・・・1月17日から2月15日の期間で実施している、「管理栄養士・栄養士の栄養学教育モデル・コア・カリキュラムの検討」平成29年度検討結果のパブリックコメント公募の状況と、2月22日から24日に開催するパブリックコメント作業とりまとめ会議について、配付資料により報告された。

#### 【VIII. 支部会報告】

##### 1. 支部会活動報告

- (1) 北海道支部会・・・菊地和美藤女子大学教授を学術総会会長とし、12月16日に北海道大学学術交流会館で開催した第15回支部会学術総会と、第67回学術総会に向けた取り組みについて、書面により報告があった。
- (2) 東北支部会・・・第4回支部会学術総会は鈴木秀子会津大学短期大学部准教授を学術総会会長とし、6月23日～24日に福島テルサで開催する。同学術総会で実施する「研究セミナー」は、本学会の「実践栄養学研究セミナー」への移行を検討している。市民公開講座の期日、会場、

内容は検討中である。

- (3) 関東・甲信越支部会・・・第5回支部会学術総会は岡純東京家政大学教授を学術総会会長とし、2月11日に東京家政大学で開催した。NP0第16期の市民公開講座は10月に予定している。
- (4) 北陸支部会・・・12月の幹事会で新澤祥恵北陸学院大学短期大学部教授の支部長の再任が承認された。第13回支部会学術総会は田中弘美北陸学院大学短期大学部准教授を学術総会会長とし、2月25日にホテルサンルート小松で、市民公開講座とともに開催する。前理事長の木戸康博金沢学院大学教授を特別講演に招聘しているので、ホームページの「会員のページ」掲載用の録画を依頼する予定である。
- (5) 東海支部会・・・第7回支部会学術総会は栗木清典静岡県立大学准教授を学術総会会長とし、6月10日にウインクあいちで、市民公開講座とともに開催する。実践栄養学研究セミナーを9月30日、10月21日、12月9日、3月3日の日程で開催している。受講生は11名であるが、ほぼ個人指導となるため担当のチューターには献身的に協力いただいている。NP0第16期は今期のフォローの年と考えている。
- (6) 近畿支部会・・・東根裕子大阪青山大学教授を学術総会会長とし、11月19日に大阪青山大学で第16回支部会学術総会を開催した。第17回支部会学術総会は、桑島千栄京都光華女子大学准教授を学術総会会長とし京都府・滋賀県で、第18回支部会学術総会は、木戸慎介近畿大学准教授を学術総会会長とし奈良県で、開催する予定である。
- (7) 中国支部会・・・第14回支部会学術総会は、小野章史川崎医療福祉大学教授を学術総会会長とし、6月に川崎医療福祉大学で開催する。
- (8) 四国支部会・・・第5回支部会学術総会は竹井悠一郎高知県立大学講師を調整役とし、6月30日に高知県立大学での開催を企画している。
- (9) 九州・沖縄支部会・・・第5回支部会学術総会は南久則熊本県立大学教授を学術総会会長とし、11月25日に熊本県立大学で、市民公開講座とともに開催した。同日開催の支部会総会で役員の変更が承認され現在最終調整中である。第6回支部会学術総会は叶内宏明鹿児島大学准教授を学術総会会長とし、2019年6月に開催する。

#### 【IX. 回覧資料による各種報告】

1. 複写に係る著作権使用料の分配報告・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。
  - (1) 一般社団法人出版社著作権管理機構（2016年度分）
  - (2) 特定非営利活動法人医学中央雑誌刊行会（2017年分）
2. 学会誌（学術総会講演要旨集）転載許諾・・・回覧資料により報告があり、これを了承した。
  - (1) 株式会社オルタスジャパン
  - (2) 株式会社メディカルレビュー
  - (3) 日本業務食品株式会社
  - (4) 相模原市教育委員会

#### 【X. その他】

1. NP0第15期・第16期の理事の所掌について・・・学会運営をより機能的なものとし、事業の円滑化を図るため、事業・課題の担当を次のとおり承認した。「理事に関する細則」に定める所掌担当理事は、当該所掌の事業・課題を把握するため、常に情報共有を行うことを確認した。

[事業・課題の担当]

- 1) 庶務 担当理事 上西一弘
  - ・認定NPO法人の検討 (WG) : 上西一弘、木村典代、(南久典)
  - ・評議員増員戦略 : 上西一弘
- 2) 財務 担当理事 塚原丘美
  - ・認定NPO法人の検討 (WG) : 塚原丘美、鈴木公、名和田清子
- 3) 学術 担当理事 赤松利恵
  - ・厚労省コアカリ検討 : 川久保清、川島由起子、(武見ゆかり)
  - ・「健康な食事・食環境」推進事業 : 赤松利恵、(武見ゆかり)
  - ・COI、研究倫理関係 : 赤松利恵、(南久則)
  - ・支部会の実践栄養学研究セミナー : 小切間美保
  - ・学会賞等選考基準の見直し (特に実践活動分野) : 川島由起子
- 4) 編集 担当理事 由田克士
  - ・栄養学雑誌編集 : 由田克士、瀧本秀美
  - ・PubMed搭載の検討 : 由田克士
- 5) 国際 担当理事 村山伸子
  - ・栄養学雑誌サプリメント「学校給食」 : 村山伸子、(由田克士)
  - ・NJPPP対応 : 村山伸子、(武見ゆかり)
  - ・第22回IUNS-ICN : 村山伸子、佐藤伸、(武見ゆかり)
- 6) 広報 担当理事 酒井徹
  - ・JSNDメールニュース、会員ページ充実の戦略 (WG) : 酒井徹、菊地和美、山本浩範
  - ・英語ホームページのリニューアル : 酒井徹、菊地和美、山本浩範

以上